



FTTH (光ファイバ) 接続

新しい情報を距離に関係なく高速で入手

高丘 ひにし だいすけ 日西大介さん・るみさん夫妻

「札幌でビルなどの飲料水の水質検査する会社に3年間勤めていました。なりたくてなって会社員として働く良さもわかってはいたんですけど、水質を分析する機械を使っていると機械まかせという感じがして、何か自分の考えで柔軟に対応できる仕事をしてみたいとなったのが最初の動機なんです」と今年1月家業の農業を継ぐためUターンしてきた大介さん。大介さんの人生の転機に寄り添ったるみさん。二人は1月に入籍し、たくさんの祝福を受け6月に華燭の典を挙げた。

会社では仕事上パソコンと接する機会が多く、さらに他社とのやり取りでメールを使ったり、新しい検査方法を導入するときなど情報を収集するためにインターネットは必須だったといい、会社や自宅でも民間通信会社の光サービスを受けていたという。

「自宅は、マンションタイプのサービスでしたが、1本のケーブルで6~8軒分配するため、同時に使うと干渉するらしく、今のあつまネットのFTTHの方が快適に使用することができます。パソコンは新しいものでないのに全くストレスを感じないので、かなりスピードが速いということなんでしょうね」と冷静に話すその横顔は、

室蘭工業大学、同大学院を卒業した根っからの技術者だ。「始めたばかりの農業なので、情報を得るために使っています。新しい情報を距離に関係なく得られるので、このサービスがあるとぜんぜん違います」と話し、あつま独自のブロードバンドは新しい道を選んだ大介さんの大きな味方になってくれそうだ。

日西さんのお宅は携帯電話の電波が届かない。「妻にとったら携帯の繋がらない所は初めてのことでだったので、きっと疎外感があったかもしれない。でも、ネットが繋がりが、頻りに友だちと連絡しあっているみたいです」とるみさんをいたわる大介さん。

大介さんの話すのを隣でだまって聞いていたるみさん。「あつまネットでネットに接続できるのを心待ちにしていたんです。ネットが繋がって主人と同じく生活に違いを感じますね。会員専用のサイトなどを使って札幌の元同僚をはじめ道外の友人たちとも気軽に連絡し合うことができるのは本当に便利です。あるとないとでは全く違います。本当にありがたいサービスですね」と笑顔で話し、その顔を見て大介さんも笑みがこぼれた。



FWA (無線) 接続

仕事や趣味に使い道が広がりそう

軽舞 おおとりこうきち まさとし 大捕孝吉さん・雅寿さん親子

趣味の釣り道具やお孫さんの初節句のお祝いに雛人形をインターネットで購入したという孝吉さん。「親の方がよくパソコンやインターネットを使っているんですよ」と孝吉さんに太鼓判を押す息子さんの雅寿さん。

あつまネットのFWAのサービス提供を受ける前は、ダイヤル回線でネットに接続していた大捕さん宅。「商品を選ぶサイトは写真が多いので、写真の表示に時間がかかってしょうがなかったんだよ。でも、今はスピードが全く違って瞬時に表示されるから、待つこともなくたいした時間が節約できているよ」と笑顔で話す孝吉さん。FWAの接続で速度は以前の200倍にアップした。

孝吉さんは「以前のダイヤル回線では、パソコンのOSのアップグレードをしようと思えばダウンロードを試みたら、何時間という表示が出るから途中で止めちゃうんだ。町議会の生中継をみようと思っても画面がぼやけていて町長なのか議長なのかわからない。でも、音声だけは流れているのでまるでラジオみたいなんだ」。雅寿さんは「動画に接続しても画面がコマ送りのようで観れなかったし、音楽をダウンロードしようとしたら何時間

もかかるので、接続すること自体止めました。子どもがアニメを観るので、番組が終わったあと『つづきはウェブで』というのが最近多く、接続したとしてもうまく観れないことの方が多かったですね」と不満はつづいていた。

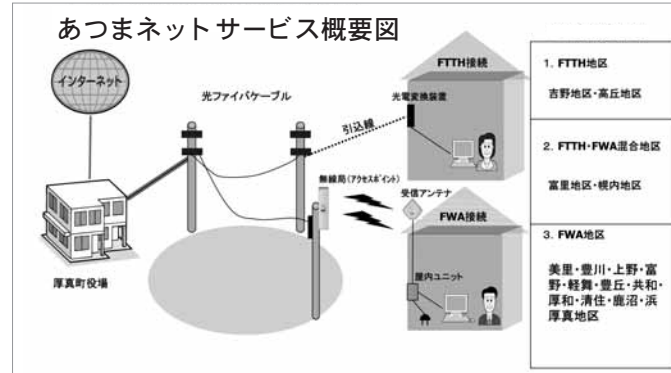
以前からブロードバンドに興味があり、積もりに積もった不満が解消できるものならと、あつまネット地域説明会に足を運んだ孝吉さんは、担当者の説明を聴き、そのときに仮申し込みを済ませていた。

サービス開始以来、速度の違いを実感した孝吉さんは「速度の遅さから前にやってみて断念した確定申告のe-Taxもやってみたく、局地的な気象情報を適時に入手して農業にも生かせると思う」。今は仕事が忙しくパソコンになかなか向き合うことができない雅寿さんも「仕事でも趣味にでも使い道が広がりそうどうも活用してみたいですね。でも、あまりにも便利で、あれもこれもと欲しくなって物を買すぎたり、音楽をダウンロードしすぎないように気をつけなければならぬですね」と話し、笑いながら顔を見合わせる孝吉さん雅寿さん親子だ。

① FTTH接続：吉野・高丘地区

あつまネットのサービス提供地区は？

ブロードバンド (Broadband) を直訳すると「広帯域」になります。道路にたとえるなら、ブロードバンドは車線が多く道幅の広い超高速ハイウェイであり、大量の情報を一度により速くやり取りすることが出来ます。通常、ブロードバンドといえば、FTTH (光ファイバ) をはじめADSL、CATVインターネット、FWA (無線) などによるインターネットへの接続のことを指します。ブロードバンドに対して電話回線やISDNによるインターネットへの接続は、ナローバンド (狭帯域) と呼ばれ、伝送速度は一般道路並みということになります。



ブロードバンドってどんな意味？

町では、町内地域間の情報格差 (デジタル・デバイド) の解消を図るため、町営のブロードバンドサービス「あつまネット」の基盤整備を進めてきました。「あつまネット」は、一般家庭および企業向けに「FTTH (各戸へ光ファイバ接続)」、「FWA (無線接続)」を利用したブロードバンドサービスです。サービスの開始は4月からの予定でしたが、準備の都合により6月から開始されました。利用されているご家庭に伺い、あつまネットを使った感想などを取材してきましたので、皆さんに紹介します。

② FTTH&FWA混在地域：富里・幌内地区
③ FWA接続：美里・豊川・上野・富野・軽舞・豊丘・共和・厚和・清住・鹿沼・浜厚真地区

あつまネット 供用開始

User Report ユーザーレポート

仕事や趣味での利便性アップ

問い合わせ先 役場まちづくり推進課企画調整グループ ☎27-3179



あつまネット担当

あつまネットで生活の利便性向上のお手伝い

まちづくり推進課企画調整グループ 主任 浦 一樹

あつまネットを担当している浦です。今年1月に役場に入りました。以前はコンピュータソフトウェア関連会社のシステムエンジニアとして従事し、厚真町の総合住民基本台帳システムを起動させるための仕事にも携わらせていただきました。

あつまネットを簡単にいえば、民間通信事業者が行っていない地域に対して、ブロードバンドサービスの提供を図り、町域内の情報格差をなくす町営の情報通信基盤整備事業です。今回、このネットを利用された方々から「スピードが速くなって便利になっ

た」申し込んでよかった」というお話を聞くとたいへんうれいしやりがいを感じます。インターネットの用途は広く、個人個人の目的の実現や生活の利便性の向上に向けて、あつまネットはその手助けになればと思っています。

以前はパソコンに向かって仕事をするのが多かったのですが、あつまネットなどの今の仕事では、人と顔を合わせる機会が多くなりました。早く町民の皆さんの顔や名前を覚えられるように努めますので、あつまネットともどもよろしくお願いたします。

あつまネットの工事費用や使用料は？
初期工事費用は30,000円。使用料は、一般はFTTH (光ファイバ)・FWA (無線) 接続とも5,880円/月で、法人はFWA接続が15,750円/月、FTTH接続が31,500円/月です。

キャンペーン実施中

平成21年7月31日までに
お申し込みいただくと

初期工事費用3万円が無料!
2カ月間使用料が無料!